

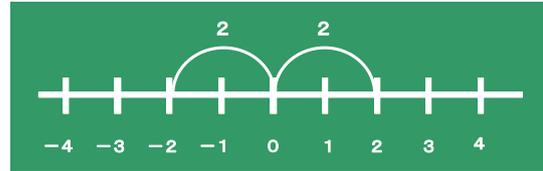
中数1年	数の大小	組	氏名
1 正の数・負の数(2)		番	

「絶対値が2以下の整数」ってどんな数？

絶対値とは、ある数の符号（+や-）をとった数だと思えます。
例えば、+3ならば3、
-4ならば4です。



絶対値とは、「数直線上で、0からある数までの距離」のことです。
数直線上で、
+2と-2について考えて
みましょう。



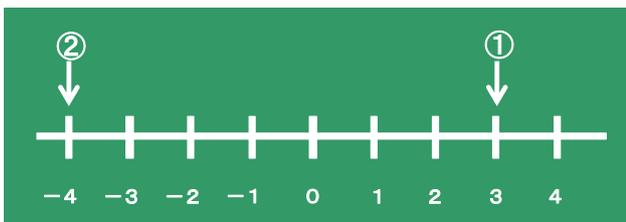
右上の数直線を見ると、+2と-2は0からの距離は、どちらも2ですね。だから、+2と-2の絶対値は、どちらも2です。
符号をとった数になるとも言えますね。

ところで、「2以下」というときは2も入りますか？

「2以下」というときは、2も入ります。
だから、絶対値が2以下の整数は、-2、-1、0、1、2の5個です。「より小さい」、「未満」というときは入らないので注意しましょう。



1 次の数の絶対値をいいなさい。



③ +2.5

④ $-\frac{1}{3}$

2 次の数のうち、絶対値が大きい方を選びなさい。

① -4, 3

② -5, -2

③ 0, -1

3 絶対値が3より小さい整数をすべて求めなさい。



次の5つの数を大きい方から順に並べなさい。

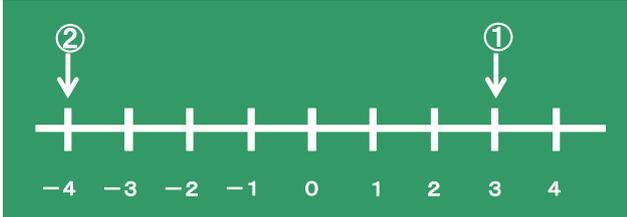
-4, -0.1, 3, 0.1, $-\frac{1}{2}$

解 説

中数1年	数の大小	組	氏名
1 正の数・負の数(2)		番	



① 次の数の絶対値をいいなさい。



答 4

答 3

③ +2.5

答 2.5

④ $-\frac{1}{3}$

答え $\frac{1}{3}$

絶対値は、数直線上で、0からその数までの距離のことですね。数直線を使って確認しましょう。



② 次の数のうち、絶対値が大きい方を選びなさい。

① -4, 3

-4の絶対値は4,
3の絶対値は3,

答 -4

② -5, -2

-5の絶対値は5,
-2の絶対値は2,

答 -5

③ 0, -1

0の絶対値は0,
1の絶対値は1,

答 -1

③ 絶対値が3より小さい整数をすべて求めなさい。

答 2, 1, 0, -1, -2

「3より小さい」というときは、3は入りませんね。



次の5つの数を大きい方から順に並べなさい。

-4, -0.1, 3, 0.1, $-\frac{1}{2}$

答 3, 0.1, -0.1, $-\frac{1}{2}$, -4

5つの数を、正の数、負の数に分けると
 正の数は…… 3, 0.1
 負の数は…… -4, -0.1, $-\frac{1}{2}$
 次に、0より大きい正の数を並べよう。
 3と0.1は、3が大きいですね。
 今度は、0より小さい負の数を並べよう。
 負の数は、絶対値が大きいほど、小さい数になりますよ。並べられるかな。